

## 第4章 重点プロジェクト

本市のまちづくりの基本理念「生命地域の創造 ～人、自然、全ての『生命』が輝く妙高～」の実現に向け、各施策を着実に実施していくために、人材や財源などの経営資源を有効に活用しつつ、計画期間内で重点的・分野横断的に取り組み、特に成果を上げていく必要がある施策を重点プロジェクトに設定しました。

なお、本章の重点プロジェクトは、まち・ひと・しごと創生法に基づく国の「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」との連携を図りながら、本市の地方創生に資する施策として推進していくとともに、人口減少問題に関する戦略目標については、中長期的な効果検証が必要なことから、次章に設定し、継続的に推進していきます。

### I 人口減少時代に即した地域経営の推進

- (1) コンパクトで住みやすいまちの形成
- (2) スマートシティ妙高の推進

### II 未来を担う子ども・若者の育成

- (1) グローバル化・ICT化に対応できる人材の育成
- (2) 地域を牽引する担い手の育成

### III 生涯現役で健康長寿のまちづくりの推進

- (1) 地域共生社会の推進
- (2) 元気高齢者の社会参加の促進

### IV 地域産業の高付加価値化

- (1) 唯一無二の観光素材の磨き上げ
- (2) 海外需要を取り込む仕組みづくり

# 重点プロジェクト I 人口減少時代に即した地域経営の推進

## ■現状認識

将来にわたる持続可能な地域社会を構築するため、たとえ人口が減少し、経済規模が縮小しても、生活の質や市民一人ひとりの幸福や満足度を高め、住みやすく充実したまちをつくるのが行政に課せられた務めです。

人口や商業機能の空洞化が進み、生活の利便性やまちの賑わいが低下してきた新井駅周辺の中心市街地は、市役所をはじめ、教育施設、文化ホール、体育館等の主要公共施設、けいなん総合病院等の医療・福祉施設、駅やバスターミナル等の公共交通の結節点が集積し、人口減少、超高齢化社会に対応したコンパクトな集約型の都市づくりに適したエリアであることから、必要な都市機能を誘導し、中心市街地の活性化を市全体の活力につなげていく必要があります。

また、持続可能なまちづくりのための地方創生、SDGsの推進や狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くSociety5.0時代の到来を踏まえ、ICTを可能な限り、あらゆる分野のハード、ソフト事業に導入し、人口減少時代においても、住まい、医療、福祉、商業、公共交通などの生活機能を確保し、将来にわたって安心して暮らし続けることができるまちづくりが求められています。

## ■基本方針

人口減少時代においても、医療、福祉、商業などの生活機能を確保し、将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、地域を経営する視点に立ち、コンパクトで住みやすいまちの形成とICTを活用した効率的な市民サービスの提供を目指します。

## ■数値目標(評価指標)

| 評価指標                               | 現況値(H30)              | 目標値(R6)        |
|------------------------------------|-----------------------|----------------|
| 都市機能・居住誘導区域内の人口密度                  | 24.3人/ha<br>(H27国勢調査) | 24.3人/ha<br>以上 |
| スマートシティの推進によって生活の利便性が高まったと感じる市民の割合 | —                     | 60.0%<br>以上    |

## 個別施策

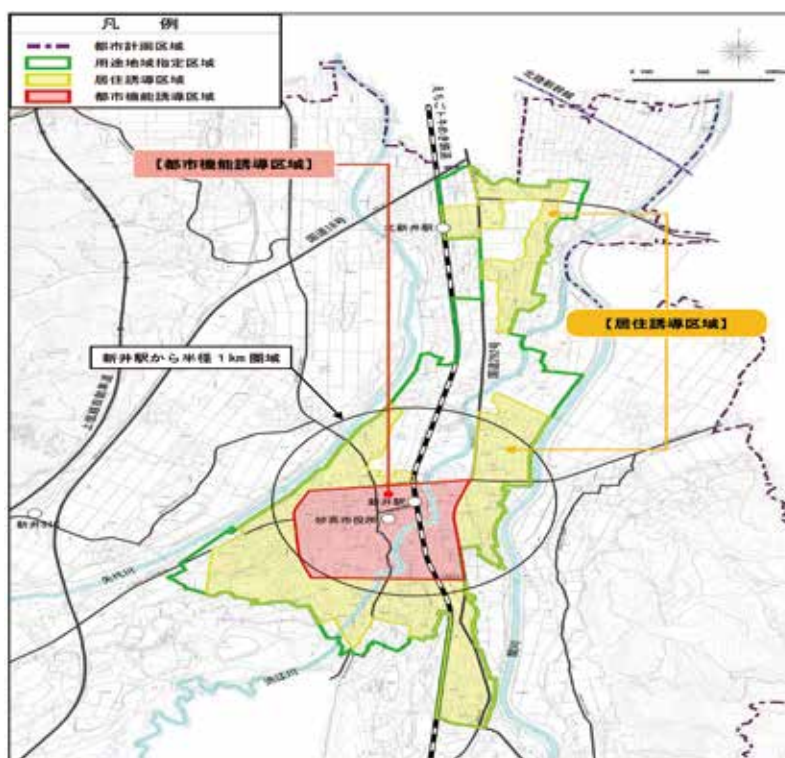
### I - (1) コンパクトで住みやすいまちの形成

|   |
|---|
| <p><b>基本的な方向性</b></p> <p>人口減少・超高齢社会においても利便性が高く住みやすいまちを形成していくため、鉄道駅を中心とした市街地形成を図りながら、鉄道駅と各地域をつなぐ地域公共交通の効率的な運行を進めます。</p>  |
| <p><b>施策の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 都市機能誘導施設(図書館、子育て施設、福祉施設等)の整備</li> <li>② 中心市街地への商業施設の誘導</li> <li>③ 居住誘導区域への住宅等の立地誘導</li> <li>④ 市民生活を維持するための公共交通の確保</li> </ul> |

### I - (2) スマートシティ妙高の推進

|  |
|--|
| <p><b>基本的な方向性</b></p> <p>人的・財政的な経営資源が縮小傾向の中、市民生活に不可欠な行政サービスを提供し続けるため、ICTを積極的に活用して、行政事務・手続の効率化を図り、生産性と利便性を向上させるスマートシティの構築を進めます。</p>                         |
| <p><b>施策の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 妙高スマートシティ構想に基づくICT施策の推進</li> <li>② ICTを活用した市民生活のサービス向上</li> <li>③ ICTを活用した市役所業務の改革</li> </ul> |

#### 《都市機能誘導区域と居住誘導区域》



出典：立地適正化計画

## 重点プロジェクトⅡ 未来を担う子ども・若者の育成

### ■現状認識

グローバル化が進展し、国境という概念が薄まった今、英語でのコミュニケーション能力を持ち、自ら考え行動し、世界で通用する人材の育成を進めるグローバル教育が世界の潮流となっています。また、IoTやAI、ビッグデータなどのテクノロジーによって業務効率性や生産性が飛躍的に向上し、産業の形が変わりつつある中、身の回りにあふれている情報やICTを活用できるスキル、発想力や論理的思考力などのプログラミング的思考を高め、ていく教育が求められています。

また、これからの時代を生き抜き、この地域を次の時代に受け継いでいくため、仲間と共に地域の魅力や課題を発見し、解決していく地域の担い手や起業・就業により地域経済を牽引していく担い手の育成を強化していく必要があります。

### ■基本方針

人口減少、グローバル化、ICT化の進展など社会・経済環境が大きな変革期を迎えている中、未来や世界を見据えた人材育成を強化し、これからの時代を生き抜き、この地域で活躍する担い手を育成します。

### ■数値目標(評価指標)

| 評価指標                   | 現況値(H30) | 目標値(R6)     |
|------------------------|----------|-------------|
| リーダーシップ能力が向上した児童の割合    | 84.0%    | 87.0%<br>以上 |
| 市内での新規起業数(平成27年度からの累計) | 25件      | 40件<br>以上   |

## ■個別施策

### Ⅱ－（１）グローバル化・ICT化に対応できる人材の育成

| 基本的な方向性   |
|---|
| グローバル化・ICT化の進展に伴い、今後求められる英語力、コミュニケーション力、情報活用力、リーダーシップ力などの向上を図り、次の時代に対応できる人材の育成を推進します。   |
| 施策の内容   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 幼児期から小学校、中学校まで一貫した英語教育の実現</li> <li>② 小中学生の海外交流、異文化理解の促進</li> <li>③ デジタル教材に対応した学習環境の整備</li> </ul> |

### Ⅱ－（２）地域を牽引する担い手の育成

| 基本的な方向性  |
|--|
| この地域を将来にわたって住みやすく活気のある地域としていくため、若者を中心に地域づくりへの参画を促進するとともに、地域社会や地域経済を牽引する担い手を育成します。                |
| 施策の内容  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域を担う人材の育成と市民活動の支援</li> <li>② 地元での起業や就業支援の強化</li> </ul> |



中学生海外派遣交流

## ■現状認識

現役世代の人口減少が進む一方で、高齢者の若返りも見られる中、より多くの人々が意欲や能力に応じ、社会の担い手として長く活躍できるよう、「一人ひとりの意思や能力、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を可能とする社会」、「地域に生きる一人ひとりが尊重され、多様な就労と社会参加の機会を得ながら、縦割りや支え手・受け手という関係を超え、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく地域共生社会」の実現に向けた環境整備を進めていくことが求められています。

また、健康無関心層へのアプローチの強化をはじめ、疾病予防・重症化予防、介護予防、認知症予防に向けた施策を推進し、健康寿命のさらなる延伸を図っていく必要があります。

## ■基本方針

人生100年時代を迎え、地域における高齢者の割合が高くなる中、支援が必要なかたを地域の力で支える地域共生社会を築くとともに、市民がいつまでも元気で地域を支える人材として活躍する社会の構築を目指します。

## ■数値目標(評価指標)

| 評価指標              | 現況値(H30)   | 目標値(R6)                |
|-------------------|--|------------------------|
| 地域運営組織の設立・運営数     | 4組織  | 14組織以上                 |
| 健康寿命(A)と平均寿命(B)の差 | 男性：△1.8歳<br>(A)79.3歳(B)81.1歳<br>女性：△3.7歳<br>(A)84.1歳(B)87.8歳 | 男性：△1.8歳<br>女性：△3.7歳以下 |

## ■個別施策

### Ⅲ－（１）地域共生社会の推進

| 基本的な方向性   |
|---|
| <p>多様なニーズに対応するためには個々の力(自助)や介護保険などの公的なサービス(公助)だけでは十分な対応が困難となっていることから、多様な主体の参画、住民相互の支え合い(共助)による地域共生社会の実現を目指します。</p> |
| 施策の内容   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域包括ケアシステムの充実</li> <li>② 地域の相対的弱者に対する包括的な支援の拡充</li> </ul>                |

### Ⅲ－（２）元気高齢者の社会参加の促進

| 基本的な方向性  |
|--|
| <p>いつまでも介護を必要としない健康な生活を送るため、市民の主体的な健康づくりを推進するとともに、地域社会の中で自らの経験と知識・技能を活かした社会貢献に取り組む元気高齢者を増やします。</p>     |
| 施策の内容  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市民主体の健康づくり・介護予防の推進</li> <li>② 学校や地域の活動への元気高齢者の参加促進</li> </ul> |



介護予防運動教室

## 重点プロジェクトⅣ 地域産業の高付加価値化

### ■現状認識

本市の観光産業は、外国人観光客数の増加などにより今後も成長が期待される分野ですが、全国のスノーリゾートを有する自治体と比較すると、観光入込客数は上位に位置しているものの、宿泊者数では低い水準にとどまっており、人口あたり観光売上額では差が開いているのが実態です。

このため、国際観光都市の実現に向け、妙高の個性を活かした魅力ある観光資源の磨き上げと、付加価値を生み出す観光地づくりを推進するとともに、地域の魅力を効果的に発信することが重要です。

国においても、観光産業を、欧米・アジア諸国等の旺盛な消費需要を取り込むことができる地域の成長産業と位置付けていることから、この観光産業を基軸とし、地域産業全体の活性化を図っていく必要があります。

### ■基本方針

妙高山麓の自然、食材、歴史文化等の資源を活かした観光産業は、今後も成長が期待される分野であるため、観光産業を基軸とし、農業や商工業へ経済効果を波及させて地域産業全体の付加価値を高めていきます。

### ■数値目標(評価指標)

| 評価指標  | 現況値(H30)  | 目標値(R6)     |
|-------|-----------|-------------|
| 域内循環額 | 1,979百万円  | 3,000百万円以上  |
| 観光売上額 | 11,643百万円 | 14,000百万円以上 |



## 個別施策

### IV - (1) 唯一無二の観光素材の磨き上げ

| 基本的な方向性   |
|---|
| <p>本市は、他の地域に誇れる自然、食材、歴史文化等の地域資源を有していることから、これらを妙高でしか体験できない唯一無二の観光素材として磨き上げ、付加価値の高い体験型観光の充実を進めます。</p>       |
| 施策の内容   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 新たな付加価値を生み出す観光施策の推進</li> <li>② 国立公園妙高を活かした自然観光地づくりの推進</li> </ul> |

### IV - (2) 海外需要を取り込む仕組みづくり

| 基本的な方向性  |
|--|
| <p>本市への国内観光入込客数が伸び悩む中、急激な伸びを見せている外国人観光客をさらに誘客するとともに、地域内消費の拡大に結び付く仕組みを構築します。</p>  |
| 施策の内容  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① グリーンシーズンにおける外国人観光客の誘客拡大</li> <li>② 外国人富裕層の誘客や長期滞在の拡大</li> <li>③ 海外需要の地域経済への取り込みの促進</li> </ul> |



高谷池ヒュッテ(空撮)